

駒ヶ根民報

No.1264
2012.2.26
日本共産党
駒ヶ根市委員会
Tel 83-2969

平成24年度予算案 143億5千万円

(一般会計と101億6千万円(特別会計))

あわせて245億1千万円

2月22日から第1回定例市議会が始まりました。

予算案が提出され、一般会計143億5000万円で前年度当初予算比13億7000万円8.7%の減、特別会計(11事業)101億6302万円前年当初比1億3745万円・1.4%の増です。介護保険と国民健康保険が大きく増えています。予算総額は245億1302万円になります。

市債(借金)は11億5060万円、前年比47.6%の減、公債費(借金返済と利息)22億1628万円となり市債残高は減になります。

介護保険料 基準額

1116円引き上げ

平成24年から26年までの第5期介護保険事業計画案が示され、介護保険料は基準

3月定例 駒ヶ根市議会

額で1,116円上がり月額5,190円になります。低所得者に配慮して今までの9段階から12段階にしましたが、大幅な引き上げとなります。

他の市町村と比べて施設の数が多いなどの要因がありますが利用すればするほど保険料が高くなるシステムそのものが問題です。保険料抑制のために、一般会計からの繰り入れを働きかけていきます。



子ども医療費の

支給中学3年まで

子ども医療費の支給対象を現在通院は小学3年生までですが、中学3年生まで引き上げました。市民の要望が強く、市民の運動と共産党議員団も粘り強く議会で取り上げ市政を動かしました。

さらに窓口での無料化と高校卒業までの拡大を求めていきます。

新給食センターは

23年度予算を繰越して、赤穂南小に建設

現在赤穂小学校の西にある給食センターを移動し、赤穂南小学校に隣接して給食センターを建設します。

平成23年度予算を繰越して実施します。

調理業務は一般財団法人駒ヶ根市給食財団に移管します。建設事業費は5億8289万円です。

子どものための

手当を支給

3歳未満は月額15,000円。3歳から中学生まで月額10,000円。

ただし第3子以降は小学生まで月額15,000円。

所得制限世帯(所得960万円)は一律月額5,000円です。

総人件費の削減

職員は一般会計の一般職員、平成23年度285名から24年度281名に4名減員です。職員給与費は6691万円減の13億5,969万円となっています。

伊南行政組合議会

上伊那消防広域化

に向けた将来像とは

上伊那消防広域化研究会は上伊那地域の将来像をまとめたとの報告がありました。

現在上伊那広域圏で2つの消防本部がおこなっている消防事務を一本化の消防本部体制とする目標。

広域化後は、1消防本部・1

指令センター、6消防署で業務を行なっていく。

人事異動は全域を移動範囲の対象としていくとされていますが、地理や人的関係を掌握して災害に対応しきれぬのかについては、幹部の異動が主になるとの見解でした。

消防署と消防団の事務は関係市町村と十分に検討・調整していくとされていますが不明瞭です。

市町村負担金については、本部庁舎、消防救急無線デジタル化、通信指令センター整備などの経費負担は広域化の団体で負担。

今までの伊南行政組合の庁舎建設費用は構成市町村の負担、伊那消防組合は既存と建設予定は管轄市町村負担です。

第1回定例市議会日程

2月	21日	議会全員協議会
	22日	市議会開会 提案説明 質疑
	23日	一般質問通告 議会運営委員会 議会報編集委員会
	24日	質問ヒヤリング
3月	5日	一般質問
	6日	一般質問
	7日	予算特別委員会
	8日	予算特別委員会
	9日	予算特別委員会
	12日	総務産業委員会
	13日	文教厚生委員会
	16日	本会議 委員長報告 質疑 討論 採決